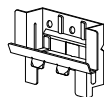


1時間・30分耐火構造 共通

鉄骨下地



通気金具
施工

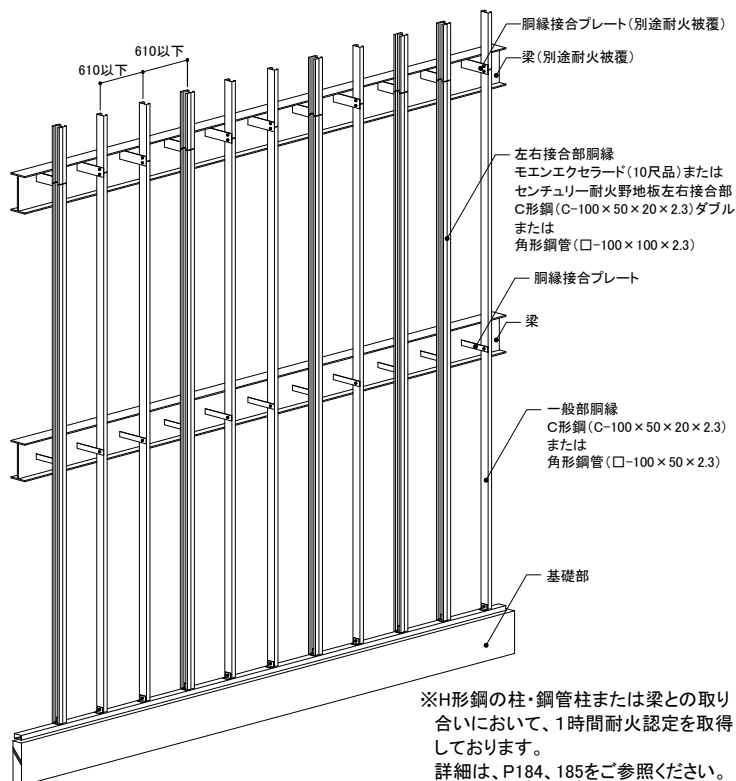
横張り

モエンエクセラード 16~21mm厚品

1.5尺×10尺、1.5尺×6尺

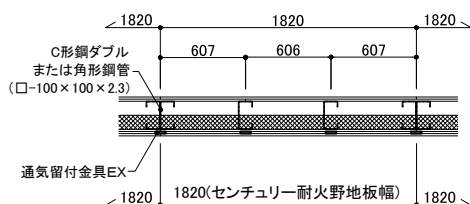
鉄骨下地組基本構成図

- 鉄骨胴縁はC形鋼(C-100×50×20×2.3以上)または角形鋼管(□-100×50×2.3以上)で縦胴縁とし、610mm以下の間隔で組んでください。
- モエンは風荷重を受けますので、下地材は設計計算により610mm以下の所定の間隔になるように設定してください。
- モエンエクセラード(10尺品)の左右接合部およびセンチュリー耐火野地板の左右接合部は、C形鋼をダブルで組むまたは角形鋼管(□-100×100×2.3以上)としてください。
- モエンエクセラード(6尺品)の左右接合部はC形鋼または角形鋼管(□-50×100×2.3以上)でも可能です。
- 鉄骨躯体梁にあらかじめ胴縁接合プレートを留め付けておいたものに、不陸を調整しながら鉄骨胴縁を留め付けてください。
- 下地躯体の梁および胴縁接合プレートは別途耐火被覆してください。
- 階高さなど、鉄骨胴縁の上下留め付け間隔が長くたわみが大きくなる場合は、胴縁間隔を狭めたり、耐風梁を入れるなど鉄骨胴縁のたわみ変形を1/200以下に抑えるよう設計してください。



横張り四方合いじゃくり品

- 屋外側はセンチュリー耐火野地板働き長さ(1820mm)ごとにC形鋼胴縁がダブルまたは角形鋼管(□-100×100×2.3以上)が必要になります。一般部およびモエンエクセラード左右接合部は610mm以下の間隔にC形鋼胴縁または角形鋼管胴縁を取り付けてください。

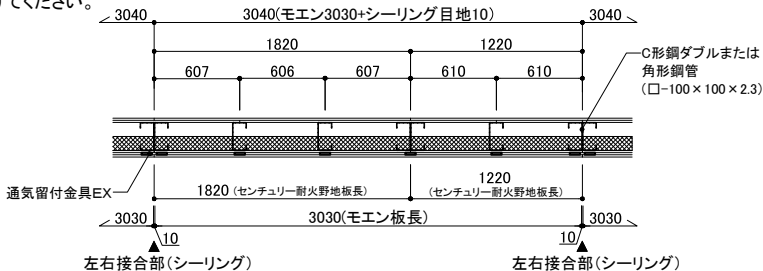


- ※1時間耐火構造の場合、四方合いじゃくり品、10尺品ともに室内側強化せつこうボードの上張り、下張りの強化せつこうボードと縦目地横目地ともに重ならないようにずらして張ります。

横張り10尺品

■センチュリー耐火野地板とモエンエクセラードの目地を合わせて下地組みを割り付ける場合

- 屋外側はモエンエクセラード(シーリング幅を含めた)働き長さ(3040mm)ごとおよびセンチュリー耐火野地板(1820mm、1220mm)ごとにC形鋼胴縁がダブルまたは角形鋼管胴縁(□-100×100×2.3以上)が必要になります。一般部は610mm以下の間隔にC形鋼胴縁または角形鋼管胴縁を取り付けてください。



■センチュリー耐火野地板(板長1820mm)を切断せずに下地組みを割り付ける場合

- センチュリー耐火野地板(1820mm)ごとにC形鋼胴縁がダブルで必要になります。また、モエンエクセラードのシーリング幅を含めた働き長さ(3040mm)ごとにもC形鋼胴縁ダブルまたは角形鋼管胴縁(□-100×100×2.3以上)が必要になります。

